

2022年4月18日

長岡市長 磯田 達伸 様

医療法人 メディカルビットバレー
エールホームクリニック

理事長/内科医師	澁谷 裕之
内科医師	伊藤 朋之
小児科医師	鈴木 竜太郎
皮膚科医師	苅谷 直之
内科医師	田村 真麻
皮膚科医師	藤本 篤
内科医師	倉科 健司
皮膚科医師	松井 彰伸
皮膚科医師	梅森 幸恵



長岡市における COVID-19 感染症とワクチン接種について

まん延防止等重点措置の適用が終了して以降、県内の COVID-19 患者は増加傾向にあります¹⁾。4月15日(金)の時点で新潟県内において連日 800 人/日程度の新規感染者が確認され、今なお感染が収束する様子はありません。長岡市でも連日 100 名を超える陽性患者が出ており²⁾、感染に歯止めがかからない状態です。残念ながら、長岡市は県内で最も COVID-19 感染症が流行している地域の一つになっています。特に幼児や学童の感染状況は深刻です。世代別でみるとワクチンの接種が進んでいる高齢者の感染割合が減少しているのに対して、10歳未満や10代の子ども達の感染が圧倒的に多くなっており¹⁾。先日の新潟県新型コロナウイルス感染症対策本部会議においても長岡市での、特に小児における感染拡大は大きな問題として扱われていました¹⁾。

小児を対象として集中的な検査を広く早期に行うことも検討されているようですが¹⁾、広く検査を行うためには相応の人員が必要です。既に県内の COVID-19 検査場は大盛況で、検査を受けられない状態になりつつあると伺っております。当院では COVID-19 流行後も診療制限を行わず広く患者の受け入れを行ってきましたが、発熱患者の診療受け入れを制限している医療機関も多く、多くの患者が検査難民・医療難民として来院しています。スタッフを総動員して診療体制を拡充しておりますが、当院を含めて今以上に検査体制を充実させるのは困難だという医療機関が多いと推察します。

また、検査を行う患者の苦痛、並びに検査結果が出るまでの患者および家族の行動制限も無視することができません。当院では唾液を用いた非侵襲的なPCR検査を行い、検査結果を遅くとも翌日午前にお伝えしています。感染拡大防止の観点から多くの患者さんに検査を受けるよう勧めています。小児患者においては唾液を取ることが困難な子どもも含まれており、痛みを伴う鼻咽腔拭いで検査を行う方もいます。検査の苦痛や就労制限の発生から強い反発があり、検査を断られてしまうケースも少なくありません。医療機関の判断で検査を広くすすめることは困難であり、かといって行政で検査を強制した場合には人流と経済活動を著しく制限することになると考えられます。

このような状況下で力を入れるべき対策として、5-11歳に対するワクチン接種が最も大切であることは言うまでもありません。ご存じの通り4月15日(土)に新潟県保健福祉部から5-11歳のワクチン接種を積極的に行うよう呼びかけがありました³⁾。努力義務を課されていないワクチンに関して県が接種を推奨するというのは非常に珍しいことです。今の感染拡大を県全体としていかに大きな問題と捉えているか、それに対してワクチン接種をどれほど重要だと考えているかがうかがえます。

当院では4月9日に長岡市民を対象として個別接種を行いました。492名の予約枠を設け、489名の接種を行いました。キャンセルの理由は「お子さんの発熱」や、「濃厚接触者に認定された」というやむを得ないものばかりでした。このキャンセル数の少なさは異例中の異例です。ワクチンの数に限りがあるため、当院では毎週500件程度の接種機会しか提供できませんが、予約枠を開放する度に定員に達してしまいます。市民の皆様もワクチン接種を強く希望されていることを実感する毎日です。

5-11歳のワクチン接種は努力義務となっていませんが、県からは積極的に接種するよう推奨され、市民の皆様も強く接種を望んでいらっしゃる、とても大切なワクチンです。限られた数のワクチンで、なるべく破棄を出さず、市民の皆様にも最大限の接種機会を提供するためには集約化が必要です。そのため集団接種会場を設けている自治体もあることはご承知の通りだと思います⁴⁾。しかし、5-11歳のワクチン接種は非常にデリケートです。小児に対する配慮や十分なスタッフの配置、細心の注意を払って行う事務作業など、成人の接種とは比較にならない苦労があります。

当院では個別接種および職域接種で100,000件を超えるコロナワクチン接種を行ってきました。コロナワクチン接種開始以降、1バイアルの破棄も出すことなく、1人も救急搬送することなく接種を行ってきたことが評価され、3月末から見附市の5-11歳全年齢を対象とした大規模接種会場の運営を委託されています。5-11歳のワクチン接種開始後も1バイア

ルの破棄も出すことなく、1人も救急搬送を要さない状態を継続しています。このノウハウを是非長岡市でも広く提供したいと考えています。長岡市民の皆様の要望にお応えできる接種を安全かつ効率的に行うための集約化に耐えられる医療機関は当院を置いて他にないと考えます。

全国をみても、これほど圧倒的な接種実績と救急搬送0を掲げている医療機関はなく、当院の接種がいかに安全だったかを物語っています。当院の予約がすぐに定員に達してしまうのは「どのような医療機関でワクチンを受けたいか」を考えれば自明の理だと思います。新潟県全体の感染対策のため、長岡市民の皆様のご期待に沿うためにも、重ね重ね追加のワクチンを切望いたします。

- 1) <https://www.pref.niigata.lg.jp/uploaded/attachment/316821.pdf>
- 2) <https://www.city.nagaoka.niigata.jp/kurashi/cate96/hasseijokyo.html>
- 3) <https://www.niigata-nippo.co.jp/articles/-/50029>
- 4) <https://www.city.shibata.lg.jp/kurashi/kenko/hoken/chusha/1018326.html>
- 5) <https://www.mhlw.go.jp/content/10601000/000872121.pdf>